

大規模施設の検討

「等々力緑地再編整備検討委員会」資料より

硬式野球場の緑地外移設の検討

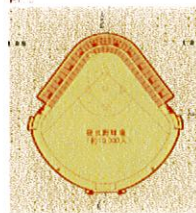
10,000人程度の収容を想定し、収容人数11,000人の大和引地台野球場を候補用地に配置できるか検討した。(図1)

なお、実際に硬式野球場を整備する場合、駐車場や待機スペースなども必要となり、それらも含めると約4haから5haの用地規模が必要となる。(図2)

図1



図2



区分		アクセス	用地規模	備考		
建設検討場所	緑地区域内	下水処理施設 建設中区域の上部 (川崎市)	駅徒歩25分 駅からバス8分	○	・都市計画事業である、下水道と公園の両立を可能とする土地利用とすることがある。 ・下水処理施設の整備を推進、整備完了までに時間を要する。	
		企業グラウンドA	駅徒歩25分	×		
	等々力緑地区域外	企業グラウンド	企業グラウンドB	駅徒歩6分	×	
			企業グラウンドC	駅徒歩6分	×	
			企業グラウンドD	駅からバス10分	×	
			企業グラウンドE	駅徒歩20分 駅からバス15分	×	
			企業グラウンドF	駅徒歩5分	×	
			企業グラウンドG	駅からバス20分	×	
			その他	新川崎地区	駅徒歩20分	×
	浮島地区(川崎市)	駅からバス30分		×		
公園緑地	富士見公園(川崎市)	駅徒歩10分	×	・旧川崎球場跡地については、長方形競技場としての整備が確定している。		
	大師公園(川崎市)	駅からバス15分	○	・軟式野球場、少年野球場、テニスコートなどの用地利用により必要な用地の確保が可能になる。ただし、既存施設の代替が必要 ・道筋の環境調整が必要だが、調整に必要な期間が特定できない。		
学校	学校跡地A	駅からバス10分	×	県有地		
	学校跡地B	駅徒歩15分	×	県有地		

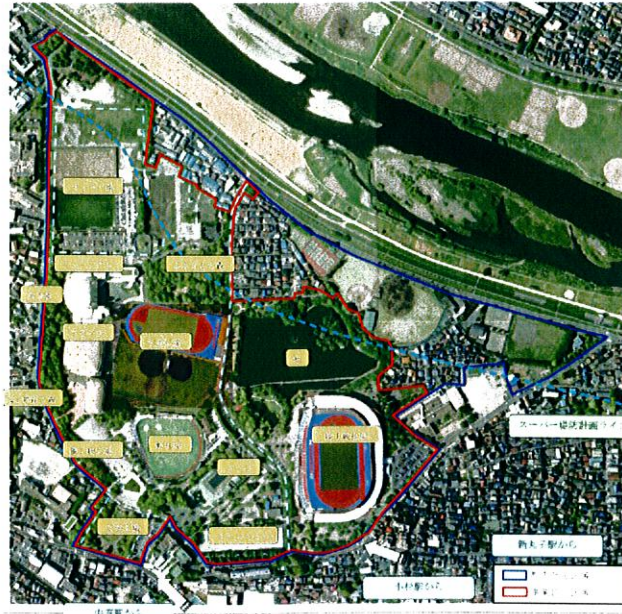
2

等々力水処理センター上部への野球場建設の可能性について



3

等々力緑地の概況



4

大規模施設整備の可能性検討

公園区域	現況公園区域				公園面積拡張(ステップ1)		
①公園面積	366,278				429,000		
②建築可能面積((①×12%)	43,953				51,480		
③現況建築されている面積	38,204				38,204		
④野球場・競技場を除く現況建築されている面積	20,223				20,223		
⑤建築想定面積	現況	A,B,C	D	S	A,B,C	D	S
野球場(現)	2,579						
野球場(新)		3,450	3,450	3,450	3,450	3,450	3,450
陸上競技場(現)	15,402		15,402	15,402		15,402	15,402
陸上競技場(新)		18,500			18,500		
サッカースタジアム(新)			18,500	21,500		18,500	21,500
デッキ(正面広場等)		1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
⑤小計	17,981	23,750	39,152	42,152	23,750	39,152	42,152
⑥残建築面積 (②-(④+⑤))	5,749	-20	-15,422	-18,422	7,507	-7,895	-10,895

5

